



334複合地区スローガン

咸じて臨む
変革の能動者たらん

334-B地区スローガン

地域と共に 咲こう
咲かそう ライオンズの花

岐阜西ライオンズクラブスローガン

一致団結！地域に奉仕で貢献しよう！

2022年 11月 第一例会 977回

11月8日(火) 於 ホテルグランヴェール岐山 12:15～

例会プログラム

第977回 健康例会

- | | | |
|--------------------------------------|------------|---------|
| | 司 会 | L.熊澤 |
| 1 開会ゴング | 会 長 | L.井ノ浦 |
| 2 国歌斉唱並びにライオンズクラブの歌合唱 | | |
| 3 ゲスト及びビジターの紹介 | 接待委員長 | L.堀 |
| | 岐阜市病院事業管理者 | 富田栄一 様 |
| 4 慶祝行事(誕生祝) | | L.井ノ浦 |
| 5 アワードの贈呈 | | L.井ノ浦 |
| 6 会長挨拶 | | L.井ノ浦 |
| 7 講演「COVID-19から
連携とコミュニケーションを考える」 | | 富田栄一様 |
| < 食 事 > | | |
| 8 幹事報告 | | L.森田 |
| 9 各委員会報告 | | |
| 10 テールツイスター登場 | TT | L.今尾 |
| 11 出席報告 | 出席大会委員 | L.後藤(清) |
| 12 会計報告 | | L.西本 |
| 13 閉会ゴング | | L.井ノ浦 |

会長・幹事報告

第977回 幹事報告

- LCIF1,000ドル献金を会長L.井ノ浦、幹事L.森田の2名が10月に実施致しました。(レートUS\$1.00＝¥144.52851-)
- 11月25日(金)岐阜市立鶉小学校において薬物乱用防止教室を開催します。青少年健全育成委員長 L.伊藤(正)、認定講師L.大橋、MC委員長L.和田の3名が出席致します。



ライオン誌日本語版メールニュース
[2022年11月1日 配信]
<https://www.thelion-mag.jp/>



会計報告

ドネーション	11人	金額	57,000円
ファイン	7人	金額	31,000円
Boxファイン		金額	4,705円
合計	18人	金額	92,705円

出席報告

会員数	45人
出席数	38人
出席率	84.4%

次回例会案内

日 時: 11月22日(火)12:15から
場 所: ホテルグランヴェール岐山
例会名: 故L.水田 追悼例会

慶祝行事

誕生祝
6日 L.後藤清七 7日 L.吉田憲正
11日 L.森田勝也 27日 L.河野秀明
28日 L.小林良之

会長挨拶

会長挨拶

会 長 L.井ノ浦 健

皆さんこんにちは。
本日は健康例会です。岐阜市病院事業管理者 富田栄一様をお迎えして、「COVID-19から連携とコミュニケーションを考える」と題しご講演を賜ります。コロナウィルスに関しましては、当クラブでも8月頃に感染された方が数名おみえだったかと記憶しております。
朝晩もめっきり寒くなってきましたし、これから忘年会シーズンを迎え皆さんも会食などの機会も増えるかと思います。コロナウィルスの毒性も弱まり、以前ほどの脅威はないのかもしれませんが、流行の懸念もされておりますので、本日のご講演をしっかりと聞き予防にお役立ていただければ幸いです。
それでは本日も宜しく願いいたします。



特別記事

講演「COVID-19から連携とコミュニケーション」

岐阜市病院事業管理者(岐阜市民病院) 富田栄一 様



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の新規感染者数は未だに多く、出口が見えてこない状態ですが、一方では私たちにいろいろと教えてくれたと思われる。そのうちの一つが連携の重要さであり、コミュニケーションの必要性です。

見方を変えて眺めると、京都大学名誉教授の岸根卓郎先生によれば、「東西文明は800年周期で興亡を繰り返す、その都度進化した新しい文明を作り出している」とされています。そして、今回は隆盛を極めた西洋文明から、今後栄えていく東洋文明へと移行していく時期であり、1950～2050の100年間の移行期とされています。

その移行期には価値観の変換が起こり、また世界的な戦争、感染症の流行などで混乱の時代を経験するとされていますが、今はまさにその時期に当たっています。世界各地での戦争・テロなどに加え、最近の各種感染症などがその現れかもしれません。

そして、今回のCOVID-19の経験から、私たち医療者は連携の大切さを学びました。病院間の連携、医師会と病院との連携、看護協会との連携、行政との連携、そして多業種の連携、ワクチン接種での企業や学校との連携など、あらゆる場所での連携を体験しました。また、その中で、COVID-19に立ち向かっていくためには、忌憚なく本音で話し合い、しっかりと価値観の異なる他業種ともコミュニケーションをとる必要性を感じました。

価値観の変換は医療界でも起きており、治療法は医師が中心に決めていた時代から患者さん本人が決めていく時代へと変わり、cure から care へと変わり、避けてきた死とも向き合っていく時代になってきました。医学の分野でも、AIの導入が現実になり、ゲノム医療、再生医療も身近に考えられる時代になりました。

ぜひとも、こんな時代の変化に対応し、医療の恩恵も受けながら満足のいく人生を送っていただきたいと念じています。



アワードの伝達

MJFアワード
LCIF1,000ドル献金

会長 L.井ノ浦 健 (2回目)
幹事 L.森田勝也 (2回目)
会計 L.西本正敏 (1回目)

おめでとうございます！



誕生祝



6日 L.後藤清七
7日 L.吉田憲正
11日 L.森田勝也
27日 L.河野秀明
28日 L.小林良之

おめでとうございます！

クラブ報告

京都嵐山ライオンズクラブチャリティゴルフ大会

10月6日(土)京都嵐山ライオンズクラブ36周年記念事業チャリティゴルフ大会がメイプルヒルズゴルフ倶楽部で開催されました。
＜参加者＞
L.伊藤(正)、
L.乙部、L.蒲、
L.加藤、L.篠田、
L.森田 以上6名

お疲れ様でした！

